精華町第2次自殺予防対策計画（案） パブリックコメントの意見と対応

【実施概要】

広く町民から意見を聴取し、計画に反映させるために意見募集を実施しました。

期間：令和6年12月20日～令和7年1月29日

場所：ホームページ及び以下の施設

精華町役場内：社会福祉課、企画調整課

関係施設等：消防本部、上下水道事務所、コミュニティーホール、町立図書館、
むくのきセンター、人権センター、かしのき苑

意見数：1名 延べ1件

番号	頁	意見要旨等	意見に対する町の考え方
1	12	支援が優先されるべき対照群として、背景にある危機経路に記載されている生活困窮の方の場合、なかなか行政に相談に行かれる発想がなかったり、SNSでも「自殺に関する窓口」と銘打つと我が事のように捉えられなかったりするかもしれません。もし「なんでも悩み相談窓口」的なものがSNSであれば、自殺のおそれに至っていない段階での相談接点ができるのではないのでしょうか。	計画案36ページから記載している「第4章自殺対策の施策」のとおり、町民への啓発や相談体制の強化に努めるとともに、包括的な支援体制を整備していきます。 また、本計画の概要版にはひとりで悩みを抱え込む前に、まずは相談していただけるよう様々な手段での相談窓口を記載する予定です。
	全頁	「自殺」という用語が鋭利すぎると思いました。	「自殺」という言葉に様々なご意見があることを踏まえたうえで、国や京都府の対策とあわせ、総合的に対策を推進する意味を含めて、本計画では「自殺」という言葉を使用します。また、厚生労働省の「地域自殺対策計画策定・見直しの手引き」を踏まえ、今回「いのち支える行動計画」という副題を併記し、より計画の趣旨等を広く理解してもらいやすくしました。